

第2次幸田町環境基本計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間
令和4年12月20日（火）から令和5年1月20日（金）まで
- 2 パブリックコメント応募件数
1件
- 3 計画に対するご意見の内容と町の考え方について

該当項目 (関連ページ)	意見の内容	町の考え方	計画案の修正
第3部第2章第2節 再生可能エネルギー を普及させよう (21頁)	再生可能エネルギー案として、幸田町では「太陽光パネル」の公共施設、事業所、住宅での設置を促進することだが、 ①太陽光パネルの希少原料単価高騰による計画への影響はどうか。	太陽光パネルは、原材料不足などにより価格高騰や納品遅れなどが発生している一方で、電気代・ガス代も上昇しています。 今後の情勢の見極めは困難ですが、再生可能エネルギーのみに頼らず、省エネによってエネルギー使用量を減らしたうえで、ゼロカーボンシティを目指していきます。	なし
	②製造時に排出する二酸化炭素排出量はどうか。再生エネルギーと相対的にどうか。	発電設備の製造などに要したエネルギーに対して、どれだけたくさんのエネルギーを得られるかを示す指標（EPT、EPR）では、太陽光発電は化石燃料火力を超える性能があることがわかっています。 なお、現段階のEPT、EPRでは、水力発電、風力発電のほうが性能がよいという結果になっています。 ※EPT、EPRは、それぞれエネルギー源の性能を表す指標の一種。EPTは、ライフサイクル中に投入されるのと同じだけのエネルギーを発電によって節電できるまでに必要な稼働時間を表す。EPRは、ライフサイクル中に投入されるエネルギーに対する、発電によって節約できるエネルギーの倍率を表す。	なし
	③交換工事の予算案についてはどうか。住宅については、新設時の補助金はあるが、交換機の補助はどうか。	太陽光パネルの交換に係る補助については、現段階では検討していませんが、愛知県及び県内市町村の動向を注視し、補助制度の調査・研究を行ってまいります。	なし

該当項目 (関連ページ)	意見の内容	町の考え方	計画案の修正
	④耐久年数はどうか。耐用年数経過後の太陽光パネルの廃棄についてはどうなっているか。	<p>太陽光パネルそのものの寿命は30年程度と言われていますが、10年程度でパワーコンディショナーの交換が必要とされています。</p> <p>廃棄時には、太陽光パネルに有用な金属が含まれている一方で、有害物質が含まれている可能性があるため、環境省の「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」に基づき、解体・撤去業者により適切に処理するよう周知してまいります。</p>	なし
	⑤設置場所について、森林、休耕農地を使用するのは本末転倒と考え、その計画があるなら町民に直ちに明らかにし、議会等で検討を要望いたします。	<p>本町が、新たに森林や休耕農地を利用して太陽光発電設備を設置する計画は現状ございません。休耕農地は、農地として利用することが望ましいですが、今後も長期的に休耕状態が続くと見込まれる場合、太陽光発電の設置も有効利用の一つと考えます。</p> <p>また、太陽光発電設備の導入にあたっては、周囲の環境や災害防止等に配慮した導入が求められますので、ガイドライン等の作成も将来的な検討課題であると考えています。</p>	なし